

3月8日、第1回鶴居村議会定例会が開かれ、大石村長が令和4年度の村政執行方針、村上教育長が教育行政執行方針を述べました。

それぞれの執行方針について概要をお知らせいたします。

全文につきましては、村ホームページに掲載してありますのでご覧ください。

令和4年度 村政執行方針



鶴居村長 大石 正行

誰もが住みやすく・持続可能な 地域を創造

↳ウイズコロナ・ポストコロナへの新たな挑戦↳

新型コロナウイルス感染症が国内で発生して以来、すでに2年余が経過し、未だその脅威は衰えることなく、今日までコロナ対策に終始してまいりました。

訪日外国人の減少や緊急事態宣言やまん延防止等重点措置による飲食店の利用制限などにより、宿泊や飲食業をはじめ村内事業者の経営は圧迫され、さらに学校給食の休止や外食需要の低迷による生乳余剰により、順調に増産を続けてきた酪農情勢が厳しい環境下に置かれています。

こうした中、令和2年に実施された国勢

調査人口の結果は、国民総人口の減少とともに、道内の人口もおおよそ16万人の大幅な減少となる中、本村は2558人と前回調査から24人の増加へと転じました。

このことは、先人・先達の方々や今を生きる村民の弛まぬ努力や長い道のりを経て、築き上げてきた酪農をはじめとする産業の発展、そして強い志のもとで育んできた「美しい村づくり」の意識が生んだ尊い結果であると受け止めています。

私は、鶴居村が持つ個性や強みにさらに

磨きをかけ、誰もが住みやすく、そして持続可能な地域を創造していくことがウイズコロナ・ポストコロナへの新たな挑戦と考えており、3つの基本姿勢をもって、令和4年度の行政運営や村づくりに臨みたいと考えています。

「安心の暮らしを確保」
「引き継がれた鶴居村の基盤、価値を守る」
「時代の潮流を捉えた取組の推進」

この3つの基本姿勢を堅持し、主要となる施策の具体的内容について、つるい未来創造プラン（第5次鶴居村総合計画）基本構想の6つの体系に沿って述べさせていただきます。

地域特性を活かした活力ある むらづくり

【農業振興について】

- 自給飼料の確保に向けた草地改良促進事業による支援に努め、新たに草地更新時の電牧設置や鳥獣被害対策等に対する支援の実施
- 安全安心で良質な生乳の生産向上を図るため、乳質改善奨励事業の推進
- 猟友会などの連携を強め、エゾシカの捕獲やカラスなどの鳥獣駆除対策の実施
- 酪農ヘルパー利用組合や乳牛検定組合などの運営支援の実施
- 災害発生時の給水対応のため、貯水タンクの設置支援を釧路丹頂農協と連携し推進

●地域集落主体の実行計画に基づき、条件不利な農地特性を改善させながら、多面的機能の確保を図る農業生産活動などを支援

●酪楽館などの施設機能を十分に生かし、製造量や販路を拡大

【林業の振興について】

●森林整備計画等に基づく、植林や間伐・下刈りなどの施業を推進

●森林環境譲与税等を活用し、民有林の森林施業を支援

●林業専用道の整備に取り組み、奥支雪裡上線の路網整備を計画

●村民の森キャンプ場の電気設備の老朽更新や開設期間を延長し利用を促進

【商工業の振興について】

●商工業者等への緊急融資や経営支援に努め、商工会の活動運営をはじめプレミアム商品券発行事業や基金増資への支援

●事業者の経営強化や新規創業による雇用の創出などの取り組み、起業化等の支援の推進

【観光の振興について】

●サイクリングなどの新たな観光需要の掘り起こしやSNSなどを活用した情報発信の充実に努め、今後の観光需要の回復期に備えた取り組みを推進

●鶴居たんちようプラザの特産品等の販売を促進し、鶴居どさんこ牧場や鶴居運動広場などの計画的な施設充実に努めるほか、鶴居産ぶどうによるワイン醸造に取り組み、今後の展望の検討

ともに支え合い生き生きと暮らせるむらづくり

【健康づくりの推進について】

●新型コロナウイルス感染予防に関する情報の提供や関連資料の確保の実施

●各種検診や脳ドック検査など、生活習慣や栄養・食生活の改善などに向けた支援の実施

【地域医療の充実について】

●鶴居診療所の管理運営を指定管理者制度により医療法人資生会に委ね、つるい養生邑病院との連携や歯科診療所を支援

●国民健康保険税の平準化に向け、被保険者に対する保険税の公平な負担などに配慮し、段階的な税率等を改正

【子育て環境の充実について】

●出産から保育、医療に至る一体的な支援と、乳幼児から高校生に対する医療費の無料化や出産祝金、就学祝金を贈呈するほか、産前・産後ケアや健診、新生児の聴覚検査等を支援し、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を充実

●食を通じて子どもたちの成長を促し、子育て世代の負担を軽減する給食費用の完全無償化を実施

●園児送迎用バス1台の更新

【地域福祉の充実について】

●高齢社会の進展などによる多様な村民ニーズに対応するため、社会福祉協議会や各種団体等と連携し村民福祉センターの利用の促進

●ノーマライゼーションの普及啓発や関係団体の育成、要保護世帯の早期把握と支援の実施

●高齢者が安心して生活し、健康で生きがいを持って社会参加ができるよう、老人クラブや生活支援体制整備事業における定期サロン開催の支援

【介護保険・障がい者福祉の充実などについて】

●第8期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画に基づく、事業の推進や適正な保険給付、介護予防事業の充実

●訪問介護や通所介護施設「ほのほのセンター」の運営の充実に努めるとともに、介護予防や認知症対策、成年後見制度等の介護サービスの推進

●事業者や関係機関などと連携を図り、必要な各種サービスの提供に努め、障がい児などへの専門的療育の機会確保や発達支援を充実

安心・安全で快適に暮らせるむらづくり

【住生活環境の確保について】

●鶴居B団地公営住宅の外部改修工事、幌呂団地公営住宅の外装補修工事等により、住宅の長寿命化を実施

●民間賃貸住宅建設促進支援補助事業、地域住宅振興対策支援補助事業による新たな集合住宅の建設に係る支援の実施

●村内に点在する空き家対策の指針とする「空き家等対策計画」の策定

●下幌呂希の杜団地等の販売を促進し、

輝く住ま居る支援事業による持ち家の推進や移住体験住宅の利用促進、空き家バンクモデル助成事業などによる移住・定住を促進

●住宅地が不足する鶴居市街地に、新たな宅地の確保に向けた取り組みの検討

【道路網の整備、交通機関の確保について】

●村道5路線の舗装補修工事の実施、新総合体育館建設に伴う道路の新設や中雪裡下久著呂線の線形改良工事を実施

●長寿命化計画等に基づき、村道中雪裡下雪裡線本流橋の補修工事や橋梁点検を実施

●道路沿線の雑草や支障木の除去など、景観に配慮した道路環境の向上

●村民の暮らしや産業活動を支えるため、国や北海道と連携を図りながら冬季間の除雪による安全な村道の通行確保の実施

●国道や道道の路面補修などの道路管理や道河川の護岸改修、堆積土砂の撤去などを関係機関に強く要請

●民間バスによる釧路・鶴居線などの路線維持に努め、釧路市内への高校通学バスの運行維持の推進

●幌呂地域デマンドバスの利用者視点に立った運行の実施

【防災及び交通安全対策について】

●災害用備蓄品の計画的な購入や地域防災体制の検証と見直しの実施

●災害発生時などに安全な飲料水を供給するため、村内3箇所の避難所に応急給水タンクを設置

●防災訓練の実施や体制の整備に取り組み、避難所となる役場庁舎を有効活用するための整備を実施

●消防団員の確保や鶴居消防署体制の充実に努め、釧路北部消防事務組合における119番通報の共同運用化や出動体制の強化を図るため、デジタル無線設備の統合に向けた整備の実施

●消防水利未整備地区の解消のため、支幌呂地区に耐震型貯水槽を新設

●第3分団に配備する水槽付消防ポンプ自動車を更新

●釧路警察署や交通安全運動推進協議会等の関係団体等と連携し、交通安全運動の推進

【情報通信環境の充実について】

●新築家屋等に接続する光ケーブルの敷設や移動通信環境の向上など、今後

も情報通信基盤の整備の充実

●災害時や外出時のスマートフォンへの情報配信によるIP端末告知放送の利用拡大

豊かな自然と共生する美しいむらづくり

【自然環境の保全と景観形成について】

●豊かな自然や美しい景観を後世に引き継いでいくため、自然環境と共生し地域資源を守り育てる取り組みの促進

●国によるタンチョウ生息地の分散化に向けた協議が進む中、今後も村民総意のもとで「タンチョウ鶴居モデル」の実現に向けた活動計画を検討

●市街地を含めた地域全体の特性を生かした景観づくりに向け、村民との協働によって景観条例や計画を策定

●太陽光発電事業の利用促進に対する自然環境や美しい景観等との共生や調和の実施

●地域や団体等による環境保全や美化活動の醸成のため、「日本で最も美しい村」連合や加盟村との連携を深め、「(仮称)美しい村づくり推進協議会」

の設立に向けた組織づくりの実施。

【上水道・生活排水処理の対応について】

●安心安全な水道水の供給に努め、幌呂地区における水量を安定的に確保するため、新たな水源調査を実施

●施設の適切な管理と安定した排水機能の維持に努め、合併処理浄化槽による水洗化機能の確保に向けた設置支援の実施

●両事業の特別会計において、法令に基づく公営企業会計への円滑な移行に向け、固定資産の適正な管理や事務体系的の確立

●今後の健全な事業経営や適正な受益者負担の在り方など、経営改善や強化に向けた協議を推進

●村民啓発による排出抑制や減量化、再資源化にごみ処理やリサイクルの取り組みの実施

●し尿処理世帯の減少に伴う今後の収集体制などの在り方について検討

豊かな人間性を育むむらづくり

【生涯学習の推進について】

●本年秋の開館に向けた新総合体育館の準備に万全を期し、スポーツや運動

を通じた地域活力を生む施設として適切な運営の実施

●村民の体験や文化・スポーツ活動等を通じて、創意工夫した学習機会の確保の実施

●旧鶴居村営軌道の北海道遺産による価値なども生かし、地域の歴史的な魅力や特性を高めるための保存や活用方法等の検討

【学校教育の推進について】

●総合教育会議における情報の共有を図り、教育委員会等と深い連携のもとで村内小中学校の運営や施設管理を支援

●特別支援員等の配置や村外の特別支援学校小中学部に在籍する児童生徒に対する就学を支援

●高等教育による成長を促し学業経費の負担軽減を図る高等学校等人材育成支援事業や教育資金利子補給を実施

●老朽化が進む鶴居中学校の長寿命化や施設拡張を図る改修・改造に向けて、調査設計を実施

●国のGIGAスクール構想によるICT教育の推進に一層取り組み、学校給食費用の完全無償化を実施

みんなで歩む協働の むらづくり

【地域づくり・地域間交流の推進について】

●地域おこし協力隊員の増員配置や地域活動を支援し、受講生等の確保に努めながら地域人材の成長を促す「村づくり塾」を開講

●ふるさと納税に係る取扱い業務をはじめ村所有施設の管理運営、さらに地域内で生ずる需要などで経済循環を施す地域密着型の「(仮称)むらづくり会社」設立を支援

●中幌呂地域に加工体験機能を有する交流施設を整備し、村内地域に有する公園機能の充実

●本村出身者等で組織する釧路鶴居会や本州在住鶴居会、札幌ふるさと鶴居会との交流などを通じて活動を支援

【広報、広聴の取り組みについて】

●村政懇談会や各種団体、村民等からの意見を聴取し、村広報誌の充実や一新した村ホームページ、SNSを活用した情報発信など、行政情報等の迅速な提供の実施

【行財政運営の推進について】

●国や北海道と十分な連携を図り、多様化した行政事務や村民要望等に対応するため、職員の研修派遣や連携体制の充実、関係機関や企業との連携による人事交流など、組織力の向上や職員育成確保の実施

●各公共施設等の適正な管理や省エネルギー化に努め、役場庁舎の機能改善や延命化を図るため、エレベーターの設置やバリアフリー化、新たな保健相談室の設置、換気設備や暖房配管の更新など、庁舎全体の改修工事の着手

●利用形態の多様化や設備の老朽化などに対応するため、総合センター機能の改善に向けた詳細調査を実施

●財政運営については、行政経営の意識を高めながら、経費節減による事務事業の執行や村税をはじめ収入的確な確保や既存事業の検証などを進め、財政基盤を維持

●ふるさと納税については、地方税法に基づく適切な運用を図りながら、地元事業者等との連携のもとで寄付者の善意に感謝する返礼品の充実や商品開発等の実施

結びに、私は、これらの施策を推進するにあたり、「つるい未来創造プラ

ン」のテーマで示す「協働による新たな時代への挑戦」の気概を持ち、鶴居村の未来に村民の幸せがあることを信じて臨むものであります。

「チャレンジして失敗を恐れるよりも、何もしないことを恐れる」、この格言は、イノベーションを繰り返しながら成長した本田技研工業の創始者本田宗一郎氏が発した言葉です。

何かを待っているのでは、様々な事象の移ろいが早いこの時代に大きなチャンスや機会を逃してしまいます。

今日、コロナ禍の社会が長らく続き、「感染しない、感染させない、拡大させない」ことで、消極的な行動が日常のものとなりつつあります。

しかし、我が鶴居村には、この地に眠る先人・先達の方々が築き上げた大地をはじめ酪農や暮らしを支える自然の恵み、そして村民の郷土愛が育まれています。

私は、任期後半を迎えるにあたり、この地に蓄積された潜在力を引き出しながら、慎重さや緻密さを持ち続け、失敗を恐れず、村民が夢や希望を抱き、新たな展望を切り拓く村づくりに取り組んでいく所存であります。